

伊勢神宮まがたま祭

二千年の時を超え、今、勾玉池に清き心を映し出す。

第一回「伊勢神宮まがたま祭」

「伊勢神宮まがたま祭」を主催する伊勢神宮勾玉会は、その名称を伊勢神宮外宮の勾玉池に由来とし、今を清らかに浄化、未来を定めるといふ指針の下、神宮に感謝し、古の人々の心を清き水に映し出すため神宮勾玉池の浄化や舞台奉納、施設の新築奉納、外宮及び周辺の整備、やがては内宮を含めた神宮全体の整備を通じて、神宮にご奉仕申し上げることを主旨目的と致しております。今回の祭典では、こうした伊勢神宮勾玉会の活動や精神を、ご理解いただける方々にご参集いただき、共に人類の幸福と繁栄、世界の平和を祈り、心を清める「般若心経」「香語」等の奉納を執り行うものでございます。前夜祭におきましては、日本邦楽界を代表する若手琵琶奏者の田中旭泉氏による「筑前琵琶」の演奏ならび、仏教伝来とともに伝えられ、日本伝統音楽の源流といわれる「天台声明」を日本天台宗の僧侶の方々により奉納いたします。お一人でも多くの皆様方にご参加いただき、自らの魂を清め、広く社会を清めていただけるようお願いしております。また、「伊勢神宮まがたま祭」は、神宮の新たな歴史を創り出す一歩として、清らかに浄化される勾玉池の輝きが、子々孫々まで受け継がれることを願い、毎年開催いたします。

平成11年11月7日(日) 午前9時45分開会

前夜祭: 11月6日(土) 午後5時開演

伊勢神宮外宮勾玉池 奉納舞台他

■近鉄「宇治山田駅」より徒歩約7分 三重県伊勢市豊川町279

●主催：伊勢神宮勾玉会

●後援：京都仏教会

●「前夜祭」11/6(土) 午後5時～

「筑前琵琶」奉納 (演奏: 田中旭泉氏)
「天台声明」奉納 (日本天台宗大僧正、
即真尊龍師他、
日本天台宗僧侶の方々)

●「まがたま祭」11/7(日) 午前9時45分～

「般若心経、消災呪、回向」「香語」奉納
(導師 臨濟宗相国寺派管長、京都仏教会理事長 有馬頼底師)
「御神楽奉納」(外宮仮神楽殿)
「外宮・内宮正式参拜」

「伊勢神宮まがたま祭」のご案内

拝啓 初秋の候益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

此の度、伊勢神宮勾玉会主催による「第一回伊勢神宮まがたま祭」が開催される運びとなりましたので、ここに謹んでご案内申し上げます。

ご高承のとおり、伊勢神宮には内宮と外宮という二つの神域がございます。内宮（皇大神宮）は今から約二〇〇〇年前に、外宮（豊受大神宮）は約一五〇〇年前にそれぞれご鎮座しました。この両正宮を総称して伊勢神宮といい、皇祖天照大御神をおまつりする内宮は、われわれの生命の源、豊受大御神をおまつりする外宮は、その生命をさらに力強く育てて行くエネルギーの源であるといわれております。「神宮」といえば伊勢神宮をさすことでも分かるように、伊勢神宮が神社の最高峰に位置し、永く人々の心をとらえ、崇拜を受け続けてきたのは、実にこの両正宮の見事なバランスに他ならないのであります。

考えてみますと世の中はすべてがバランスの上になり立っているのではないのでしょうか。これが崩れたときに人々は憎しみ合い、争い、傷つけ合うのではないのでしょうか。人間が心や体を病むのも、均衡が失われるからであります。

翻って、近年、両正宮の現状を見ますと、内宮に比較して外宮への参拝者が減少する傾向を見せております。古来、神宮の正式参拝は外宮からはじまり内宮へと参る慣わしとなっております。交通事情等にも起因すると聞いておりますが、神宮を崇拜するとは外宮と内宮を共に大切にし、お参りすること不得以任何なりません。

外宮を活性化し、失われた均衡を回復することが急務であります。人々がバランスを重んじるという原点に立ち返ることが、ひいては日本の安定、世界の平和にもつながるのではないのでしょうか。

「勾玉」と申しますと八咫鏡、草薙剣と並ぶ三種の神器のひとつ、八咫瓊勾玉が有名ですが、私ども伊勢神宮勾玉会の名称は、その勾玉と外宮勾玉池に因んでつけられました。その勾玉池の水が昨今の世相を反映するかのようには澱んでまいりました。そこで、まず勾玉池の浄化から始め、奉納舞台・観覧休憩施設の新築奉納、外宮及び周辺の整備、やがては内宮を含めた神宮全体の整備作業を通じて神宮にご奉仕申し上げますことが、そもそも勾玉会の主旨目的であります。神宮司庁との数次に亘る打合せを経て、全国から会員を募り、本年三月には伊勢の地において、執行役員・各地区代表の認証式を執り行いました。勾玉池の浄化については、さるご高徳な方が既に立派な浄化設備を献納されましたので、私ども勾玉会は奉納舞台等を中心とする勾玉池周辺の整備作業から始めることとし、神宮司庁とも具体的な話し合いに入っております。

今回ご案内申し上げます「伊勢神宮まがたま祭」は、こうした伊勢神宮勾玉会の活動や精神をご理解いただける全ての方々に、政治・宗教・国境を超えてご参集いただき、共に日本国の安定と繁栄、人類の幸福、世界の平和を祈ろうとするものです。一定のイデオロギーに基づくものではありません。政治的・宗教的な意図も全くありません。今後、毎年一回開催し、誰もが参加できる大祭として子々孫々受け継がれるものにしたいと願っております。

とくに本年は、その歴史的な第一歩を刻む記念の大祭であることに鑑み、日本や世界の現状をいま最も憂い、日々祈り続けておられる宗教家・宗教団体の皆様にご後援、ご協力いただくことになっております。

何卒、主旨をお汲み取りの上ご参加くださいますようお願い申し上げます。

敬 具

平成十一年九月吉日

伊勢神宮勾玉会

会長 武 本 俊